

事業名 CD	0110060304	生涯学習市民講座開設事業
細分化した事業名		
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	小項目	生涯学習の推進	
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等	公民館設置及び管理に関する条例
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	市民の必要課題と多様な学習要求に応えるため、学習機会の場を提供し、市民の自主的・自発的な学習活動を支援する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	成人一般・児童・幼児
これまでの改善経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度にパソコン講座用のパソコン設置 平成14年度より中央公民館長の常勤
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 □補助金 □その他 ()</p> <p>市が依頼した講師による各種講座・教室と映画会の実施 広報や学校等・各戸配付のチラシによる開催の周知 家庭教育推進のための支援事業・青少年健全育成のための支援事業・子育て支援のための事業・青少年文化活動支援事業・いきいき生涯学習活動の推進・国際理解と国際交流を深めるための事業・中高年者の生き方支援・時々の課題や必要課題に応える事業・まちづくり推進事業各種出前講座</p>
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	必要課題や学習者のニーズに応えた学習機会を提供し、幅広い層の市民に受講・参加を促し、豊かな地域づくりをする市民の育成

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	854	739	794
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	854	739	794
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.02	0.02	0.02
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	138	136	134
D	総事業費(A+C) (千円)	992	875	928
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	28 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注 1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注 2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注 3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	開催講座数	講座回数 (回)	—	138	198
	受講者数	延べ人数 (人)	4,722	3,997	5,471
成果指標	受講満足度 (アンケートによる) (算出式数値)	満足と答えた数/回答数 (%) 350 人/352 人	97.82	98.76	99.43
	受講率 (算出式数値)	総受講者数/総定員数 (%) 5,471 人/5,830 人	89.00	88.71	93.84
効率指標	1 講座当たりの経費 (算出式数値)	総事業費/講座数 (円) 928 千円/21 講座	43,130	62,500	44,190
	受講者一人当たりの経費 (算出式数値)	総事業費/総受講者数 (延べ) 928 千円/5,471 人	210	218	169

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 各講座参加者の意見などを聞きながら、時代に対応した講座を開催している。講座への参加者募集は、市広報への掲載、公共施設、各種団体、学校に依頼して募集している。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 前年度に比べ、講座数を増やし参加者数が増加した。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 総事業費、受講者1人あたりの事業費、1講座あたりの経費は減少し、低コストで多くの受講者と参加者の満足感を得ることができた。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 受益者負担意識を啓発する。 自主的サークル活動へ発展をねらう。	(2) 24 年度 自主的サークル活動へ発展をねらう。	(3) 23 年度 自主的サークル活動へ発展をねらう。
	22 年度の改善計画 新たな講座を取り入れ受講者の増加を図る。		
22 年度の改善結果 平成 21 年度は受講者はやや減少したが、平成 22 年度は増加した。			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 地域の人材を活用 受講者増加のため(特に新規受講者) 関係団体との情報交換の場を増やすことにより、地域住民への周知を一層図ることができる。			
課長所見	子どもから高齢者まで幅広い市民を対象に講座等を実施し、生涯学習の推進を図っている。今後、参加者負担の検討と自主的サークル活動への発展への方策を検討していく。		